



Vol.3

（有）ショウナンエンジニアリング「機器メーカー」

今までにないアイデアで

時代に合った製品づくりを

未来を見据えた

製品を作っていく

「自動車を1台作るために必要な部品は約3万点。その一つの部品を加工するため、それぞれ約5〜10台の機器が必要になる。自動車業界は裾野が広く、面白い。この業界で特化したものを作ってみたい」その熱い思いを胸に、ショウナンエンジニアリングでは、主に自動車部品の洗浄機器やろ過装置を設計・製作しています。使用する方のことを考えながら、未来を見据えた商品開発に日々取り組んでいます。

自動車部品を加工する際、発生する熱を

抑えたり、切粉（鉄粉）を洗い流したりするために、クーラント液という液体が使用されています。クーラント液は繰り返し使用するため、液中に含まれた切粉をろ過装置で取り除く必要があります。

今年2月に特許を取得した「マグネットインラインフィルター」は、今までにない発想で生まれたろ過装置です。液中に含まれた切粉を、ろ過装置のフィルター素材として活用したのです。これにより、フィルター素材を交換するコストがかからなくなるだけでなく、消費電力なども抑えることができるようになりました。

今後進む省エネ社会のニーズに合った製品を製作しています。

グローバル化が進む中、海外へ活路を求め、製品の輸出や海外に拠点を置く鹿児島県の企業が出てきています。県内の製造業に焦点を当てながら、着実に進む経済のグローバル化を考えます。

海外進出の鍵は

地理的な問題を越える努力

これまでの販売先は県外であったため、すぐにメンテナンスに駆けつけることができないという課題がありました。それを克服するため、壊れにくくランニングコストが低い製品の製作に取り組み、現在では海外でも注目されるようになりました。

「作りたいと思って作った製品が、社会で役立つのが嬉しい。これからもどんどん挑戦していく」佐澤社長が、飛び切りの笑顔で会社を明るく導いていきます。



会社には「南から創造と夢」という思いが詰まっている。11名の少数精鋭のスタッフが、その思いを元に力を合わせている。



インドネシアで行われた展示会 (Manufacturing Indonesia2015)。



マグネットインラインフィルターに溜まった切粉は、シリンダーを上下するだけで除去でき、掃除時間の短縮につながる。



（有）ショウナンエンジニアリング
 曾於市財部町南俣3207番地1
 TEL0986-28-5885



代表取締役社長：佐澤 昌治 さん